

平成19年度 事業計画

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

社団法人堺観光コンベンション協会は、堺市及びその周辺地域の観光に関する事業並びにコンベンションに関する事業の振興を図り、もって堺市の文化厚生の上昇に寄与することを目的としている。

古代から残る多くの歴史文化資源を有し、中世に培われた「自由と自治」の精神、連綿と受け継がれている「進取の気風」によって、常に新たな時代を切り開いてきた堺市は、昨年4月の政令指定都市移行を推進力として、活力と魅力に溢れる世界に開かれた「新時代の自由都市・堺」の実現に向けて取り組んでいる。そして、重点施策として掲げている「歴史と文化を活かした都市魅力の創出」において、観光はこれまで以上に重要な役割を果たさなければならない。

そのため、仁徳陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群、茶の湯の文化、神社仏閣や歴史的建造物、自転車や刃物に代表される伝統産業など、豊富な観光資源を有効に活用し、新たな観光魅力の創出と都市ブランドの形成を図るとともに、各関係団体・機関がそれぞれの役割を的確に果たすよう連携を強化しながら、積極的な情報発信、プロモーション活動、受入体制の整備等を行い、国内外からの集客力を高める事業に取り組む。

I 堺まつり事業

昭和49年(1974年)、「堺の誇りを知るまつり」として第1回の開催以来、先人が築いてきた歴史と文化を基礎に、全国的な集客力や話題性の高いオリジナリティー溢れる企画・演出を行い、市内最大のイベントとして堺の都市魅力を情報発信するとともに、市内外からの観光誘客を図ることにより、地域産業の活性化、地域文化の振興に寄与し、市民の郷土愛を醸成することを目的に開催する。

<テーマ>

○第34回「堺まつり」 新自由都市・堺 ～エコ&ピース～

南蛮貿易で栄えた中世、自由で平和な自治都市を形成し、茶道をはじめとした華やかな文化を開花させてきた歴史に焦点をあてながら、世界に開かれた新時代の自由都市として、さらに飛躍を遂げようとする堺市の活力と魅力に溢れた都市イメージを定着させるため、前回に引き続き、地球的な規模で住みやすいまちづくりを考える「エコ(環境共生)&ピース(国際平和)」をテーマとして、10月20日(土)、21日(日)の両日に開催する。

1 大パレード

(1) 日時

10/21日(日) 11:00～17:00

(2) 場所

大小路筋（シンボルロード）

(3) 内容

華やかで活気にあふれた安土・桃山時代の文化を中心とした「堺らしさ」を演出するとともに、テーマに沿って、躍動感とスピード感のあるパレードを展開する。

○ 主な視点

堺らしさの演出（なんばん衣装行列・時代衣装行列・火縄銃隊・ふとん太鼓）、政令指定都市交流、国際交流、エコ&ピース、若者の参画 など

2 なんばん市

(1) 日時

10/20（土）10:00～20:00

10/21（日）10:00～18:00

(2) 場所

ザビエル公園（堺区櫛屋町西1丁）

(3) 内容

商人のまちで栄えた中世の楽市・楽座の復活を演出し、地場産品即売市や飲食ブース、堺ブランド「堺技衆」や各種PRブースをはじめ、各種団体によるステージを展開する。

3 利休のふるさと堺大茶会

(1) 日時

10/20（土）9:00～15:30

10/21（日）9:00～15:30

(2) 場所

南宗寺山内（堺区南旅籠町東3丁1-1）

大仙公園内（堺区百舌鳥夕雲町2丁）

(3) 内容

利休により大成された茶道文化を誇りとして受け継ぎ、茶の湯を通して内外の文化振興と観光振興を図る。

① 南宗寺会場

三千家による本席・野点席を催す。

② 大仙公園会場（堺市茶室「伸庵」を含む。）

大学及び幼稚園による野点席、煎茶団体による煎茶席を催す。

集客策としては、琴や尺八による箏曲の演奏、人力車の運行、和菓子の販売を行うとともに、韓国からの特別企画展「韓日茶文化交流展」とのコラボレーション、今後の茶室事業の拡充に繋がるような新しいイベント展開も検討する。

4 前夜祭

(1) 日時

10/20（土）18:00～20:30

(2) 場所

堺市民会館大ホール（堺区翁橋町2丁1-1）

(3) 内容

民族舞踊などのパフォーマンスをはじめ、メインとなる催しについては、テーマに沿ったコンセプトで話題性と集客性の高いステージを検討する。

5 その他

(1) 事前PRの充実

主要駅や会場周辺におけるポスターやバナーの装飾はもとより、話題性の高い企画・演出により、各種メディアへの情報提供等を効果的に行い、堺の観光魅力を含めたインパクトのあるPRを行う。

(2) 各種タイアップ企画

市内外からの集客性や話題性の向上、面的な広がり創出のため、各種タイアップ企画を検討する。

- ① 旅行商品の造成に向けた旅行業者等とのタイアップ
- ② 話題性のある各種イベントとのタイアップ
- ③ 各種協賛行事等とのタイアップ

日タイ修好120周年記念事業「(仮称) タイフェスティバル2007堺」(10/20(土)・21(日)～堺市役所市民広場) など

(3) プログラム構成

2日間を通して、来場者が見やすいようなプログラム構成を検討する。

(4) 調査研究

大小路筋へのLRT導入を踏まえ、これからの「堺まつり」の方向について、調査研究を行う。

II 観光宣伝事業

経済波及効果の大きい宿泊ビジターの増加をめざし、豊富な観光資源を活用した魅力的な観光メニューの開発、効果的なプロモーション活動等を展開するとともに、海外ビジターの増加も視野に入れた受入体制の整備、友好都市をはじめとした都市交流、各種メディアを効果的に活用した情報発信を積極的に行う。

1 受入体制の整備

(1) 観光案内所の運営

堺駅観光案内所、堺東観光案内所及び大仙公園観光案内所において、来訪者に対する観光案内、各種情報の提供、みやげ品の販売、観光レンタサイクルの貸出等を行う。

さらに、海外ビジターの増加も視野に入れながら、サービス全体の向上を図るため、観光案内や情報提供の充実はもとより、案内所の改装、案内表示の充実、年末年始を除くすべての日における営業、営業時間の拡充を行うとともに、管理運営面において人的機能の強化を行う。

- ① 堺駅観光案内所（南海線「堺駅」コンコース2階）

近接する協会事務所と補完しながら各種サービスの提供を行っているが、協会事務所の堺市役所本庁内への移転（5月予定）にともない、南海堺駅ビル1階の協会事務所スペースの改装も含め、旧市街地の観光の起点としての整備を行う。

② 堺東観光案内所（堺市役所前博愛ビル1階）

堺市の玄関口であり、観光案内所の中でも中核的な機能を持つ案内所として整備する。博愛ビル1階のチャレンジショップが退所したことを踏まえ、同ビル1階全体について、特に来訪者に分かりやすく、入りやすい外観と内装を施し、みやげ品の販売、地域特産品の展示機能を付加する。

また、「ビジット・ジャパン案内所」ネットワークへの参加も視野に入れ、外国人観光客に対応するための人的配置を行い、コールセンター的機能を整備する。

③ 大仙公園観光案内所（大仙公園前レストハウス内）

小規模ながらみやげ品の販売を行っており、昨年11月には観光レンタサイクルの貸出しを開始し、機械警備の導入を行った。今後は、観光客の推移等に応じた整備を検討する。

(2) 堺市役所高層館21階展望ロビーの活用

堺観光周遊バス助成事業のアンケート調査で、最も満足度の高かった堺市役所高層館21階展望ロビーを活用するため、堺市から施設を賃借し、関係団体等と連携した観光サービスの提供を行う。

① 観光案内等

堺観光ボランティア協会と連携した観光案内を行うとともに、堺市との調整を図りながら、観光サービスのさらなる拡充を検討する。

② 喫茶コーナーの運営

来訪者の休憩及び食事の場として、喫茶・軽食の運営を業者委託する。

(3) 堺観光ボランティア協会との連携

きめの細かい観光ガイドをはじめ、レベルの高いサービスの提供を図るため、知識と経験が豊富な堺観光ボランティア協会と連携し、特に各観光案内所、堺市役所高層館21階展望ロビー、仁徳陵古墳拝所前における観光案内等を強化する。

また、サービスのレベルアップを図るため、堺観光ボランティア協会に対する助成、自主運営の側面からの支援を行う。

(4) 観光レンタサイクルの運営

① 観光案内所での貸出

各観光案内所において、観光レンタサイクルの貸出しを行う（希望する案内所等での乗り捨てが可能）。昨年11月には新型自転車を導入し、利用料金の改定を行ったが、さらにホームページの充実、サイクルマップの作成、モデルコースの紹介、利便性の向上に努め、環境と人にやさしい自転車のまち・堺を内外にPRする。

② 観光関連施設での貸出

引き続き、財団法人シマノ・サイクル開発センターにおいて貸出しを行うとと

もに、堺ホテル協会と連携して宿泊施設での貸出しも行う。

③ 駐輪場の整備

堺商工会議所と連携して、駐輪のためのモニュメントを堺技衆の企業により作製し、堺刃物ミュージアムをはじめとした観光施設に設置する。

(5) 堺観光周遊バス助成制度

市内を訪れる観光ビジター数を増加させるとともに、そのニーズを調査するため、一定の要件のもとバスを借り上げて市内の観光施設を周遊する団体に対して、バス1台につき、その借上費用の2分の1を助成する。ただし、市内での「宿泊」又は「日帰り」に応じて上限を定める。

2 誘致プロモーション活動・観光宣伝活動

(1) プロモーションチームの設置

旅行業者等へのプロモーションやセールス活動を拡充するため、人的機能の強化を図り、パッケージ旅行や修学旅行等の誘致活動を促進させる。

(2) ファムトリップの実施

堺市、関西国際空港株式会社をはじめとした関係団体・機関と連携し、堺へのファミトリップを実施し、特に旅行業者等に対して、旅行商品化に向けた堺の観光魅力のPRを行う。また、大阪府、財団法人大阪観光コンベンション協会、堺市と連携し、VJC事業の一環として、訪日教育旅行の誘致活動を行う。

(3) 観光関連事業及び行事への参画

- 旅フェア2007（千葉・幕張）への出展
- 大阪観光キャンペーン事業への参画
- 西高野街道観光キャンペーン事業への参画
- 堺大魚夜市への参加
- 2007御堂筋パレードへの参加
- 堺産業フェア等への参加 など

(4) 協会ホームページの充実

インターネットを活用したリアルタイムな観光情報を豊富に提供するため、協会ホームページのさらなるリニューアルを図る。特に、「極める」「食べる」「体感する」等のテーマ別コンテンツを拡充させるとともに、多言語による観光情報の発信を行い、動画を活用したコンテンツの充実にも取り組む。

- アドレス <http://www.sakai-tcb.or.jp>

(5) 各種PRツールによる情報提供等

- パンフレット等の作成

「百舌鳥古墳群めぐり」「与謝野晶子文学碑めぐり」「堺市茶室」やマップ等について、整理統合や多言語化も検討しながら、より効果的な印刷物を作製し、観光案内所、市内宿泊施設、阪堺電気軌道各停留場等で配布する。

- 各種メディアに対する情報提供

各種観光イベント情報誌、新聞等のマスメディアに対する情報提供をタイムリ

一に行う。

- 関係団体・機関等への情報提供
関係団体・機関等と広く情報を共有し、より効果的な観光PRを行う。
- 観光ビデオ、CD-ROM、写真等のツールの貸出
特に写真については、四季を通じて堺の観光魅力を提供できるようなデジタルライブラリーの創設を検討し、協会HP上での利用促進も図る。
- 観光名刺の製作・販売
観光名刺（堺まつり、仁徳陵古墳、堺市茶室、日本庭園、旧堺灯台）を製作し販売する。
- コルトン（電照看板）の掲出
南海堺駅ビル内で仁徳陵古墳のコルトンを掲出する。
- 観光情報の収集
タイムリーな情報発信を行うため、最新の観光情報等を的確に収集する。

3 観光魅力の開発等

(1) 魅力的な観光メニュー・旅行商品の開発

堺市が推進する観光ネットワーク推進事業、文化観光拠点創出事業、町家活用推進事業、産業観光促進事業等と連携しながら、旧市街地や仁徳陵古墳・大仙公園周辺の観光資源や伝統産業等を活用することはもとより、多様化するニーズを的確に捉えた魅力的で経済波及効果の高い観光メニューを開発する。

また、旅行業者等へのセールスプロモーションを強化するとともに、具体的な旅行商品の造成に向け、旅行業者、観光関連企業等との連携を強化する。

(2) 観光みやげ品の推奨及び販売等

① 堺市優良観光みやげ品の推奨

平成19年4月から2年間、協会が推奨する第20回堺市優良観光みやげ品について、協会ホームページ等のPRツールやイベントなどのプロモーション活動において、広く紹介、斡旋する。

② インターネットによる観光みやげ品販売システムの構築

協会ホームページ上において、みやげ品の紹介をするだけでなく、インターネットの販売システムを構築することにより、全国からの購入希望者に対応することはもとより、観光案内所での販売やカタログ販売と合わせて、より相乗効果のある紹介、斡旋を行い、販売の促進を図る。

③ カタログ販売の実施

みやげ品を紹介するだけのパンフレットではなく、インターネット販売システムとリンクさせながら、宿泊施設等との連携も図り、FAXによるカタログ販売を行う。

④ 観光案内所での販売・PR

各観光案内所に観光みやげ品のカタログ等を配備し、紹介、斡旋を行うことはもとより、堺東観光案内所と大仙公園観光案内所においては販売コーナーを設置

し、堺駅観光案内所においては展示コーナーを設置する。

⑤ その他の販売等

- ・堺東観光案内所、大仙公園観光案内所における協会商品の販売
- ・じばしん南大阪内ショップ「アピール」における協会商品の委託販売
- ・博物館内自動販売機の設置
- ・各種イベントやプロモーション事業における展示販売

4 ロケーションサービス等の充実

(1) メディアの活用及びロケーション撮影の支援

観光魅力を効果的に情報発信し、都市ブランドの向上を図るため、各種メディアに対して観光情報やイベント情報をタイムリーに提供するとともに、観光イベント情報誌等への取材協力、テレビ等のロケーション撮影の誘致活動を行う。また、取材・撮影等の機会が増えることを通じて、文化・観光資源のネットワーク化や環境整備等を推進し、地域の活性化を図る。

(2) フィルムコミッションに関する調査研究

情報発信力の高い映画やドラマの撮影等を誘致し、来訪者の増加とそれにとともなう直接的・間接的な経済波及効果を促し、また、地域文化の創造や向上を図るため、フィルムコミッションに関する調査研究を行う。

5 都市交流等促進事業

(1) 国内友好都市や政令指定都市との交流

種子島「鉄砲まつり」等のイベントに参加するなど、堺市の友好都市や政令指定都市等との交流活動を行う。

(2) 他都市交流使節「エンゼル堺2007」の設置

市内の大学等からの推薦を得て、「エンゼル堺2007」を3名以内で委嘱し、都市交流活動や都市魅力の情報発信を効果的に行う。任期は、6月1日から翌年5月31日までの1年間とする。

○ 主な活動

- ・種子島等の他都市との交流活動
- ・内外来訪者との交流活動
- ・観光PR事業など本協会が主催・共催・後援する事業や行事における派遣活動
- ・公的行事等の派遣活動 など

6 観光・文化行事に対する支援

「こおどり」や「ふとん太鼓」等の伝統的行事の保存・育成に対する助成や各種団体が開催する観光・文化行事に対する後援・協賛を行う。

7 関係団体・機関等との連携強化

- (1) 大阪府、財団法人大阪観光コンベンション協会との連携強化
- (2) 大都市観光協会連絡協議会への参加
- (3) おいでよ堺21実行委員会への参画
- (4) 大仙公園・周辺施設連絡会における連携強化

(5) 観光・文化関係団体や事業者等との連携強化

Ⅲ コンベンション事業

国内外の会議やスポーツ大会の誘致・支援活動を通じて、堺の都市魅力を国内外に情報発信するとともに、集客交流機能の充実により、特に経済波及効果の大きい宿泊ビジターやリピーターの獲得を図り、地域経済の活性化や地域文化の振興、都市イメージの向上につなげる。

また、関係団体・機関等との連携による情報収集の強化、主催者への意向調査の分析により、的確で効果的な誘致活動を展開する。

1 コンベンション誘致事業

(1) プロモーションチームの設置

観光誘客と一体となって、開催団体や旅行業者等へのプロモーションやセールス活動を拡充するため、人的機能の強化を図る。

(2) 開催団体等への誘致プロモーション活動

国内外の会議やスポーツ大会等について、これまで実績のある開催団体を中心に誘致活動を展開するとともに、コンベンショントレードショー（IME）や商談会等にも積極的に参加し、新規コンベンションの獲得に向けた誘致活動を行う。

(3) 堺市コンベンション開催補助金制度の活用等

受入体制を整備することはもとより、コンベンション開催経費の2分の1を上限として、一定の要件のもと市内延宿泊者数に応じた助成を行う「堺市コンベンション開催補助金制度」を活用した誘致活動を行う。

また、インセンティブツアーの誘致も視野に入れ、多様なエクスカージョンの提供など、観光魅力の向上も図る。

(4) PRツールの作成等

コンベンション支援事業の内容、コンベンション施設、宿泊施設、協会等を紹介する資料を多言語化も検討しながら作製し、観光PRツールと合わせて、誘致プロモーション活動で効果的に活用する。

2 コンベンション支援事業

本市で開催されるコンベンションを成功に導くため、開催団体や参加者に対して各種支援サービスを行う。

(1) 計画・準備段階での支援

- ① 会場や宿泊施設、観光等に関する資料の提供
- ② 開催会場等の事前視察の受入
- ③ 会場や宿泊施設等の確保・調整
- ④ 堺市コンベンション開催補助金制度の紹介
- ⑤ 後援名義の依頼や市長招請など行政との連絡調整
- ⑥ 開催コンベンションの広報・宣伝
- ⑦ 関連事業者の紹介

(2) 開催中・開催後の支援

- ① 観光パンフレット等の提供
- ② コンベンションバッグの提供
- ③ 観光案内デスクの設置、観光ボランティアの派遣
- ④ エクスカーション等の企画・手配

3 広報宣伝・調査研究

(1) コンベンショントレードショーへの出展

国内唯一のコンベンション総合展示会「国際ミーティングエキスポ（IME）」に出展し、コンベンション誘致に向けたPR活動や情報収集を行うとともに、事前の開催予定等の調査に基づき具体的な誘致活動を展開する。

(2) 協会ホームページでの情報提供

コンベンション支援事業、コンベンション開催状況、エクスカーション等について、ホームページでの情報発信を強化する。

(3) 各種情報誌への情報提供

「月間展示会情報E&C」「日経BPIイベント辞典」「季刊ミーティング事典」等の専門誌への広告掲載や記事の提供を行う。

(4) 関係団体との連携強化

JNTO（国際観光振興機構）、JCCB（日本コンgresコンベンションビューロー）、近畿コンベンション連絡会等、関係機関との連携を強化し、コンベンション誘致のノウハウを蓄積するとともに、国内外のコンベンションの情報交換を行う。

(5) 調査研究

的確で効率的な誘致活動を行う基礎資料とするため、開催団体の意向調査等を実施する。

- コンベンション開催団体アンケート調査
- 堺市内コンベンション開催動向調査

IV 茶室事業

1 堺市茶室における管理運営の受託

堺市教育委員会が所管する堺市茶室（黄梅庵・伸庵）及び庭園（堺区百舌鳥夕雲町2丁・大仙公園内）の管理運営を行う。

2 「茶の湯」文化の振興

今日の茶道を完成させた千利休生誕の地における「茶の湯」文化の振興を図る。

(1) 呈茶事業

茶室「伸庵」において市民、観光客等を対象とした呈茶サービスを実施する。

- ① 立礼席
茶室「伸庵」の立礼席において、抹茶（干菓子付）を提供する。また、多くの来訪者に「茶の湯」文化を楽しんでいただくため、開庵時間の拡大を図る。
- ② 月例茶会

毎月第二土曜日、茶室における呈茶サービスや施設見学を実施する。

③ その他

特に増加しているツアーに対応するため、茶室におけるお点前の披露などについても検討する。

(2) 調査研究

茶室「伸庵」をさらに活用し、「茶の湯」文化のすばらしさを多くの方に体感していただくため、新たな事業展開に向けた調査研究を行う。

3 広報宣伝活動

最大の観光魅力の一つである「茶の湯」文化について、協会ホームページやパンフレットによる情報発信はもとより、各種プロモーション活動やイベント等においても積極的なPRを行い、利用促進を図る。

また、「あぶらとり紙」を作製し、利用者に配布する。

V 会員サービスの充実

会員サービスを充実させるとともに、協会活動の広報、協会事業への参加を呼びかけるなど、関係団体等の協力も得ながら、新規加入会員の増加に努め、協会組織の強化を図る。

(1) 情報誌の発行

これまでのコンベンション事業の一環としてだけでなく、観光情報の記事も充実させた情報誌「あせんぶる」を発行する。

(2) 観光コンベンションの情報提供

観光コンベンションの各種情報について、協会ホームページ上で情報発信することはもとより、会員向けメール配信など、インターネットを活用した情報の提供を検討する。

(3) 会員情報の発信

協会ホームページにおいて、会員紹介を行うとともに、希望に応じて観光コンベンションに関連した会員の情報を発信する。

(4) 情報交換等の場の提供

観光及びコンベンションの振興に向け、関係団体・機関等が相互により連携を密にし、相乗効果を高めるため、情報交換等の場を提供する。